

斗沢班 報告書

班員：芋田・岡田・川村・菊地

活動目標

- ・参加者が楽しめるものを作る
- ・小さな子ができるものを作る
- ・十和田工業を知ってもらおう

活動内容

青森県・げんねんジュニア
ロボットコンテストを参考に、
①と②を製作

巨大折り紙による③制作
100均にある物で④製作

- ①ボード倒しロボ競技の製作
↳ (コート / ロボ)
- ②相撲ロボ競技の製作
↳ (コート / ロボ)
- ③釣り堀
↳ (コート / 釣り竿)
- ④<<!!!ドラゴンの制作!!!>>

使用材料

- ・ダンボール 〔¥0〕
試作品やロボカップ相撲に使用
加工が楽だった
- ・折り紙 〔¥100×4個〕
ドラゴン制作に使用
- ・木材 〔¥0〕
学校の廃材。コート製作に使用
軽いかつ、丈夫だったが
木目にモータが挟まるのが難
- ・ガムテープ 〔¥300〕
コートのつなぎ目に使用
なんでもくっつけられて楽
- ・モータや操作盤 〔¥1,380×2個〕
相撲ロボやボード倒しのロボに
使用。めちゃ壊れやすい
- ・100均 〔諸々¥4000〕
ストロー、磁石、乾電池等
ここに来れば大抵のもの¥100で
びっくり。

活動写真



釣り堀の製作

- ・ 9月から製作開始
- ・ 子供向けに作成
- ・ 文化祭で一般公開



ドラゴンの制作

- ・ 6月から制作開始
- ・ 折り紙による制作
- ・ 文化祭で展示



ボード倒しの製作

- ・ 4月から製作開始
- ・ コート製作に苦戦
↳ コート製作と併用しながら
ロボット製作開始
- ・ 文化祭で披露



相撲ロボ競技制作

- ・ 4月から製作開始
- ・ ロボットの見た目を
模索しながら製作
- ・ 6月下旬コート・ロボット
ともに完成
- ・ 文化祭で



まとめ・感想

- ・ 機械の故障が多かった
- ・ 積極的に活動できた
- ・ 幅広い世代に楽しんでもらえた
- ・ 複数のものを文化祭で、運営する大変さを知った
- ・ 早めの行動が大切だと思った
- ・ 計画を立てての行動ができなかった